

【事務事業調査】

事務事業名	町民体育祭開催事業費			予算科目	会計-款-項-目-事業
				コード	001-10-05-01-003-04-01-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当	事業の分類	既存事業
		リーダー	山野井 紀泰		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後評価 ◆町民体育祭の大会運営のために、財政的な支援を行いました。 ・自治公民館(42公民館)の対抗戦として、球技大会(5月ソフトボール・6月野球・8月女性ワンタッチバレーボール大会)を開催しました。 ・体育祭(10月)は雨天のため中止になりました。	◆世代間・地域間の交流が図られます(ました)。 ◆地域にスポーツを広め、多くの人々がスポーツに親しみきっかけとなります。 ◆スポーツを通して、自治公民館の参加者の結束が強くなり、地域づくりに繋がります。
	H24 事前評価 ◆町民体育祭の大会運営のために、財政的な支援を行います。 ・自治公民館(42公民館)の対抗戦として、球技大会(ソフトボール・野球・女性ワンタッチバレーボール大会)と体育祭を開催します ※町民体育祭のあり方についてはH23中に検討・協議することとしていますが、本調査作成の時点では未了であるため、前年度同様の計画としています。	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
町民体育祭の参加者	延べ9,000人		◆42公民館の参加 ◆球技大会(ソフトボール・野球・女性ワンタッチバレーボール) ◆町民体育祭 ※町民体育祭のあり方についてはH23中に検討・協議することとしていますが、本調査作成の時点では未了であるため、前年度同様の指標としています。

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 交付金	600	◆H23年度と同額要求 ◆大会運営費
2		・事業費1,200千円-繰越金600千円=交付金600千円 →H23当初予算担当者ヒアリング結果
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	600	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	600		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	600		

■補助金等名:高根沢町町民体育祭交付金

■補助事業者等:高根沢町町民体育祭開催委員会 委員長 高橋 克法

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	各自治公民館対抗戦として行う町民体育祭(球技大会の部・本大会)は、町全体が一体となって実施できる唯一の大会です。運動を楽しみながら地域づくりができます。
		■町全体に波及効果が期待できる。	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	町民体育祭は、一人1スポーツの推奨や生涯スポーツの推進、運動習慣の定着に大きな役割を担っています。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	町民体育祭(球技大会の部・本大会)は、町全体が一体となって実施できる唯一の大会であり、町内42公民館全部が参加して実施しています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	楽しく運動するきっかけづくりとなっており、地域づくりや地域の活性化につながっています。
		■予算の見積が適正である。	
5	適格性	■実施体制が明確である。	町の各組織が中心となって開催委員会を組織し、その下部組織として実行委員会を立ち上げ、住民主体の組織により開催することができています。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	
合計点数		46	
総合評価		継続	